

独立行政法人国立がん研究センター理事会（平成 25 年度第 3 回）議事録

日 時 平成 25 年 6 月 24 日（月） 15：00～16：25
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 堀田知光理事長 佃和夫理事 末松誠理事 門田守人理事 中釜斉理事
荒井保明理事 小野高史監事 長崎武彦監事

議事概要

I. 理事会（平成 25 年度第 2 回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を荒井保明理事と小野高史監事をお願いした。

II. 報告事項

1. 健康・医療戦略について

- ・平成 25 年 6 月 14 日関係閣僚により申合せされた「健康・医療戦略」について報告がなされた。
- ・省庁横断的に戦略を立てているのは良いが、縦割り行政の悪い体質が残らないようにすべきである。組織を新たに作るとしても、本質的なところのディスカッションが必要であるとの意見が出された。
- ・出口戦略がよく分からない、基礎系の研究、学会、大学の扱いをどのように考えているのか不明であるなどの意見が出された。

2. 今後のがん研究のあり方に関する有識者会議について

- ・6 月 11 日に資料として出された報告書案・暫定版について報告がなされた。
- ・がん対策推進協議会の状況について発言があった。

3. 組織改正について

- ・6 月 17 日付臨床開発センター、早期・探査臨床研究センターの組織変更、7 月 1 日付センター組織図（生物統計部門の新設）及び研究所（TR 総合支援グループの新設）、中央病院（病理・臨床検査科長）の組織変更等について報告がなされた。
- ・来春に抜本的な組織見直しを考えている旨の表明がなされた。

4. 財務諸表・決算報告表・事業報告書について

- ・平成24年度決算について報告がなされた。
- ・経営に対するリスクへの対応を考えておく必要がある。PDCAのアクションが大切である。との意見が出された。
- ・平成26年度へ向けて消費税率3%アップへの対応を考えておく必要があるとの意見が出された。
- ・職員の持つ潜在能力は高いと思われるため、それを発揮させるような仕組みを考えていく必要があるではないかとの意見が出された。

5. 連携大学院（東京医科歯科大学・早稲田大学）について

- ・東京医科歯科大学連携大学院及び早稲田大学理工学術院との連携協定について報告がなされた。

6. 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬アクセス充実対策等事業について

- ・厚生労働省医薬食品局が公募した企画競争「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬のアクセス充実対策等業務」について企画提案書を提出したとの報告がなされた。

7. 月次決算について（4月分）

- ・平成25年度4月期の決算状況について報告がなされた。

Ⅲ. 審議事項

- ・特になし